

子ども・子育て支援ニーズ調査にご協力ください

晩秋の候、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

また、日頃は、鹿沼市の児童福祉行政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、昨年8月、国において子ども・子育て支援法が成立し、平成27年度から、同法に基づく子ども・子育て支援新制度が開始されることとなりました。

この新制度に対応するため、本市におきましては、保護者の皆様の就労状況やご家庭の事情にかかわらず、すべての子どもが等しく質の高い教育・保育を受けられる環境整備を進めるための基本指針となる「鹿沼市子ども・子育て支援事業計画」を策定することといたしました。

本調査は、保護者の皆様の子ども・子育て支援事業に関する「現在の利用状況や」「今後の利用希望」などをおうかがいし、計画に反映させることを目的に実施するものです。

つきましては、皆様方にはお忙しいなか誠にお手数ですが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成25年11月

鹿沼市長 佐藤 信

調査票の記入にあたって

○この調査は、小学生のお子さん(平成13年4月2日～平成19年4月1日生まれ)を持つ、保護者の方を対象に実施するものです。ただし、同一世帯内に小学校就学前のお子さんがいる場合は、そちらのお子さん宛てに調査票を送付しています。

○特に、ことわりのある場合以外は、封筒の宛名のお子さんについてご記入ください。

○この調査の結果は、上記の目的以外には使用いたしません。また、調査の回答は、すべて統計的に処理し、皆様にご迷惑をおかけすることはありませんので、率直なご意見をお書きください。

○記入された調査票は、12月 日()までに、同封の封筒に入れてご提出願います。

○提出先については、学校を通して配布された方は、学校へ提出してください。郵便で送られた方は、返信用の封筒に入れて、こども支援課まで郵送してください。

○このアンケート調査に関するお問い合わせは、次へお願いします。

鹿沼市保健福祉部こども支援課こども支援係

電話 0289-63-2160(平日8:30～17:00)

お住まいの地域について

問1 お住まいの地区として当てはまる答えの番号 1つに○をつけてください。

- | | | | | |
|---------|--------|--------|--------|--------|
| 1. 鹿沼 | 2. 菊沢 | 3. 東大芦 | 4. 北押原 | 5. 板荷 |
| 6. 西大芦 | 7. 加蘇 | 8. 北犬飼 | 9. 東部台 | 10. 南摩 |
| 11. 南押原 | 12. 栗野 | 13. 粕尾 | 14. 永野 | 15. 清洲 |

お住まいの地区がわからない場合は、お住まいの町名をお答えください。

--

問2 宛名のお子さんの生年月月をご記入ください。(口内に数字でご記入ください。数字は一枠に一字。)

平成			年			月生まれ
----	----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	------

問3 宛名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。宛名のお子さんを含めた人数を口内に数字でご記入ください。お2人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月月をご記入ください。

きょうだい数		人	末子の生年月	平成			年			月生まれ
--------	----------------------	---	--------	----	----------------------	----------------------	---	----------------------	----------------------	------

問4 この調査票にご回答いただく方はどなたですか。宛名のお子さんからみた関係でお答えください。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

- | | | |
|-------|-------|------------|
| 1. 母親 | 2. 父親 | 3. その他 () |
|-------|-------|------------|

問5 この調査票にご回答いただいている方の配偶関係についてお答えください。当てはまる番号 1つに○をつけてください。

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 配偶者がいる | 2. 配偶者はいない |
|-----------|------------|

問6 宛名のお子さんの子育て(教育を含む)を主に行っているのはどなたですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号 1つに○をつけてください。

- | | | | | |
|----------|---------|---------|----------|------------|
| 1. 父母ともに | 2. 主に母親 | 3. 主に父親 | 4. 主に祖父母 | 5. その他 () |
|----------|---------|---------|----------|------------|

子どもの育ちをめぐる環境について

問7 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に日常的に関わっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係で当てはまる番号すべてに○をつけてください。

- | | | | | | |
|--------------------------------|-------|-------|--------|-------|-------------|
| 1. 父母ともに | 2. 母親 | 3. 父親 | 4. 祖父母 | 5. 学校 | 6. 放課後児童クラブ |
| 7. その他（ ） | | | | | |

問8 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）に、影響すると思われる環境すべてに○をつけてください。

- | | | | | |
|-------|-------|-------|-------------|--------------------------------|
| 1. 家庭 | 2. 地域 | 3. 学校 | 4. 放課後児童クラブ | 5. その他（ ） |
|-------|-------|-------|-------------|--------------------------------|

問9 日頃、宛名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。また、お子さんをみてもらっている状況についてもお答えください。当てはまる番号・記号にすべてに○をつけてください。

預かってもらえる人の有無		預かってもらうことに関する状況
1. 日常的に祖父母等の親族に みてもらえる	➡	ア. 祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる イ. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である ウ. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である エ. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい オ. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある カ. その他（ ）
2. 緊急時もしくは用事の際には 祖父母等の親族にみてもらえる	➡	ア. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる イ. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である ウ. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である エ. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい オ. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある カ. その他（ ）
3. 日常的に子どもをみてもらえる 友人・知人がいる	➡	ア. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる イ. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である ウ. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である エ. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい オ. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある カ. その他（ ）
4. 緊急時もしくは用事の際には 子どもをみてもらえる友人・ 知人がいる	➡	ア. 友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる イ. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である ウ. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である エ. 自分たち親の立場として、負担をかけていることが心苦しい オ. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、少し不安がある カ. その他（ ）
5. いずれもない		

問10 宛名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所がありますか。

相談先の有無 《１つ選択》		相談相手／場所《複数選択可》
1. いる／ある		ア. 祖父母等の親族 イ. 友人や知人 ウ. 近所の人 エ. 学校の先生 オ. 放課後児童クラブの指導員 カ. 子育て支援施設（児童館等）・NPO キ. 保健所・保健センター ク. 保育士 ケ. 幼稚園教諭 コ. 民生委員・児童委員 サ. かかりつけの医師 シ. 自治体の子育て関連担当窓口 ス. その他（ ）
2. いない／ない		

問 11 子育て（教育を含む）をする上で、周囲（身近な人、行政担当者など）からどのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にお書きください。

問 11-1 いま子育てについてどんな情報を得たいと思っていますか。当てはまる番号すべてに○を付けてください。

1. 子どもの発育や病気	2. 子どもの食事や栄養
3. 子どものしつけや勉強	4. 保育所（園）や幼稚園
5. 子どもの一時預かり	6. 子育ての相談窓口
7. 子育ての手当や公的助成	8. 子どもの遊び場や施設
9. 子連れで参加できるイベント	10. 子育てサークル
11. 子育ての講座や講演会など	12. その他

問 11-2 子育てに関する情報をどこから入手していますか。当てはまる番号すべてに○を付けてください。

1. 親族（親、きょうだいなど）	2. 近所の人、地域の知人、友人
3. 保護者仲間	4. 子どもプラザ・子育て交流サロン
5. 保育所（園）幼稚園、学校	6. 市役所（保健センター等）
7. 市の広報やパンフレット、公民館だより	8. 市のホームページ
9. テレビ、ラジオ、新聞	10. 子育て雑誌・育児書
11. フリーペーパー	12. インターネット
13. 情報の入手手段がわからない	14. その他

保護者の就労状況について

問 12 宛名のお子さんの母親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。【父子家庭の場合は記入不要です】

12-① 母親の「就労状況」と「就労時間」

「就労状況」と「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いものについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は必ず（例）09時～18時のように24時間制でご記入ください。

※フルタイムとは1週5日程度・1日8時間程度の就労、パート・アルバイト等とはそれ以外の就労をいいます。

母親の就労状況《1つを選択》	就労時間 《数字を一枠に一字記入》
1. フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	1週当たり 日
2. フルタイムで就労しているが、産休・育休・介護休業中である	1日当たり 時間
3. パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	家を出る時刻 時 分
4. パート・アルバイト等で就労しているが、産休・育休・介護休業中である	帰宅時刻 時 分
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	
6. これまで就労したことがない	

12-② 母親のフルタイムへの転換希望

12-①で「3.」または「4.」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する	4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

12-③ 母親の就労希望

12-①で「5.」または「6.」（現在就労していない）に○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号に○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）	
2. 1年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい	
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	

希望する就労形態 《1つ選択》	ア. フルタイム イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）
希望する就労時間 《数字を記入》	1週当たり 日 1日当たり 時間

問 13 宛名のお子さんの父親の現在の就労状況（自営業、家族従事者含む）をうかがいます。【母子家庭の場合は記入不要です】

13-① 父親の「就労状況」と「就労時間」

「就労状況」と「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は必ず（例）０９時～１８時のように２４時間制でご記入ください。

※フルタイムとは１週５日程度・１日８時間程度の就労、パート・アルバイト等とはそれ以外の就労をいいます。

父親の就労状況《１つを選択》	就労時間 《数字を一枠に一字記入》
1. フルタイムで就労しており、育休・介護休業中ではない	1 週当たり 日
2. フルタイムで就労しているが、育休・介護休業中である	1 日当たり 時間
3. パート・アルバイト等で就労しており、育休・介護休業中ではない	家を出る時刻 時 分
4. パート・アルバイト等で就労しているが、育休・介護休業中である	帰宅時刻 時 分
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	
6. これまで就労したことがない	

13-② 父親のフルタイムへの転換希望

13-①で「3.」または「4.」（パート・アルバイト等で就労している）に○をつけた方にうかがいます。フルタイムへの転換希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。

1. フルタイムへの転換希望があり、実現できる見込みがある	2. フルタイムへの転換希望はあるが、実現できる見込みはない
3. パート・アルバイト等の就労を続けることを希望する	4. パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい

13-③ 父親の就労希望

13-①で「5.」または「6.」（現在就労していない）に○をつけた方にうかがいます。就労したいという希望はありますか。当てはまる番号に○をつけ、該当する口内には数字をご記入ください。

1. 子育てや家事などに専念したい（就労の予定はない）	
2. 1 年より先、一番下の子どもが 歳になったところに就労したい	
3. すぐにでも、もしくは1 年以内に就労したい	
希望する就労形態 《1 つ選択》	ア. フルタイム イ. パートタイム、アルバイト等（「ア」以外）
希望する就労時間 《数字を記入》	1 週当たり 日 1 日当たり 時間

病気の際の対応について（平日日中の教育・保育事業を利用する方のみ）

問 14 宛名のお子さんについて、この 1 年間に病気やケガのために通常の教育・保育事業を利用できず、特別な対応を取る必要がありましたか。必要があった場合は、この 1 年間の対処方法を選択し、それぞれの日数をお答えください。（半日でも 1 日とカウントしてください。）

必要性の有無 【1 つ選択】	1 年間の対処方法【複数選択可】	年間延べ日数 【数字を記入】
1. あった	ア.就労していない保護者が見た	日
	イ.就労している母親が仕事を休んで見た	日
	ウ.就労している父親が仕事を休んで見た	日
	エ.(同居人を含む)親族・知人に預けた	日
	オ.病児・病後児保育事業を利用した	日
	カ.有料のベビーシッターを利用した	日
	キ.仕方なく子どもだけで留守番をさせた	日
2. なかった	ク.その他 ()	日

⇒問 15 へ

⇒問 16 へ

（参考資料） 鹿沼市における病児・病後児保育事業の概要

＝病後児保育＝

概要	病気回復期にある乳幼児が、集団保育が困難で自宅での育児を余儀なくされる期間、一時的に預かる事業
実施場所	茂呂保育園（茂呂 1884-3）
対象者	概ね 1 歳～小学校 3 年生
利用可能時間等	午前 7 時 30 分～午後 6 時、月～金曜日（土日祝日年末年始を除く）
利用料	1 時間 200 円

＝病児保育＝

概要	病気が回復期でない乳幼児で、集団保育が困難で自宅での育児を余儀なくされる期間一時的に預かる事業
実施場所	小川こどもクリニック（貝島町 785）
対象者	概ね生後 9 週～小学校 3 年生
利用可能時間	午前 9 時～午後 6 時（土曜日は午前 9 時～午後 1 時） 月～水、金曜、土曜（木、日祝日、年末年始を除く）
利用料	1 日 2,000 円（午前、午後のみ各 1,000 円）

問 15 問 14 の対処方法で、「イ」または「ウ」を選んだ方にお伺いします。

その際、できれば、「病児・病後児保育事業」を利用したいと思われましたか。思われた場合は希望延べ日数と利用したい事業形態を、思わなかった場合はその理由をお答えください。

病気の際の意向 【1つの選択】							
1. できれば利用 したいと思った。	<table border="1"> <thead> <tr> <th>希望延べ日数 【数字を記入】</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td> 日 ㊦ 問14でイ、ウと答えた日数の合計に対して </td> </tr> <tr> <th>希望する事業形態 【複数選択可】</th> <td> ア.小児科に併設した施設で子どもを預かる事業 イ.保育所（園）に併設した施設で子どもを預かる事業 ウ.その他（ ） </td> </tr> </tbody> </table>	希望延べ日数 【数字を記入】			日 ㊦ 問14でイ、ウと答えた日数の合計に対して	希望する事業形態 【複数選択可】	ア.小児科に併設した施設で子どもを預かる事業 イ.保育所（園）に併設した施設で子どもを預かる事業 ウ.その他（ ）
希望延べ日数 【数字を記入】							
	日 ㊦ 問14でイ、ウと答えた日数の合計に対して						
希望する事業形態 【複数選択可】	ア.小児科に併設した施設で子どもを預かる事業 イ.保育所（園）に併設した施設で子どもを預かる事業 ウ.その他（ ）						
2. 利用したいとは思 わなかった	<table border="1"> <thead> <tr> <th>思わなかった理由 【複数選択可】</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td> ア.他人に子どもを預けるのが不安なため イ.地域の事業の質に不安があるため ウ.場所や利用時間が合わないため エ.利用料が高いため オ.利用料がわからないため カ.親が仕事を休んで対応できるため キ.特に理由はない ク.あることを知らなかった ケ.その他（ ） </td> </tr> </tbody> </table>	思わなかった理由 【複数選択可】			ア.他人に子どもを預けるのが不安なため イ.地域の事業の質に不安があるため ウ.場所や利用時間が合わないため エ.利用料が高いため オ.利用料がわからないため カ.親が仕事を休んで対応できるため キ.特に理由はない ク.あることを知らなかった ケ.その他（ ）		
思わなかった理由 【複数選択可】							
	ア.他人に子どもを預けるのが不安なため イ.地域の事業の質に不安があるため ウ.場所や利用時間が合わないため エ.利用料が高いため オ.利用料がわからないため カ.親が仕事を休んで対応できるため キ.特に理由はない ク.あることを知らなかった ケ.その他（ ）						

問 16 問 14 の対処方法で「エ」から「ク」のいずれかを選んだ方にお伺いします。

その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思われましたか。思われた場合はできれば仕事を休んで看たいと思う延べ日数を休んで看ることが難しい場合はその理由をあわせてお答えください。

希望の有無【1 つ選択】		
1. できれば仕事を休んで看たい	希望延べ日数 【数字を記入】	日 ㊦ 問 14 でエ〜クと答えた日数の合計に 対して
2. 休んで看ことは難しい	難しい理由 【複数選択可】	ア.子どもの看護を理由に休みが取れないため イ.自営業なので休めないため ウ.休暇日数が足りなくて休めないため エ.仕事が忙しくて休めないため オ.現在の対処方法で特別問題がないため カ.その他（ ）

不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

問 17 宛名のお子さんについて、この 1 年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、家族の病気など)により、お子さんを泊りがけで家族以外に預けなければならないことはありましたか。(預け先が見つからなかった場合も含む)。すべてのお子さんを合わせた状況で、必要性があった場合は、その際の対処方法を選択してください。

必要性の有無 【1 つ選択】		1 年間の対処方法【複数選択可】	年間延べ日数 【数字を記入】
1. あった		ア.(同居人を含む)親族・知人に預けた	泊
		イ.短期入所生活援助(ショートステイ)事業を利用した	泊
		ウ.認可外保育施設、ベビーシッターを利用した	泊
		エ.仕方なく子どもを同行させた	泊
		オ.仕方なく子どもだけで留守番させた	泊
		カ.その他（ ）	泊
2. なかった			

問 18 問 17 で「ア.(同居人を含む)親族・知人に預けた」を選んだ方にお伺いします。

親族・知人に預ける場合の困難度はどの程度でしたか。【当てはまる番号1つに○】

1. 非常に困難 2. どちらかというと困難 3. 特に困難ではない

小学校における放課後の過ごし方について

問 19 宛名のお子さんは、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごされていますか。また、希望としてはどのような場所で過ごさせたいですか。現状と希望について、1 週当たりの希望日数を数字でご記入ください。

放課後を過ごす場所《複数選択可》	1 週あたりの日数《数字を記入》	
	現状	希望
1. 自宅	週 日くらい	週 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 日くらい	週 日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など)	週 日くらい	週 日くらい
4. 児童館	週 日くらい	週 日くらい
5. 放課後子ども教室 ※1	週 日くらい	週 日くらい
6. 放課後児童クラブ・学童保育 ※2	週 日くらい	週 日くらい
7. ファミリー・サポート・センター	週 日くらい	週 日くらい
8. その他（公民館、公園など）	週 日くらい	週 日くらい

※1 「放課後子ども教室」…地域の方々の協力を得て、放課後や週末に小学校や公民館で学習・スポーツ・文化芸術活動などを体験する取組です。保護者の就労の有無に関わらず、すべての小学生が利用できます。

※2 「放課後児童クラブ」…地域によって学童保育などと呼ばれています。保護者が就労等により昼間家庭にいない場合などに、指導員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

問 20 宛名のお子さんについて、平日、土曜日、日曜日・祝日、長期の休暇期間中（春・夏・冬休み）に、放課後児童クラブの利用希望はありますか。当てはまる番号 1 つに○をつけてください。事業の利用には、一定の利用料がかかります。

また、利用したい時間帯を、(例) 09 時～18 時 のように 24 時間制でご記入ください

	利用希望の有無《1 つ選択》	利用希望時間《数字を記入》
平日	1. 週4日以上利用したい 2. 週1～3日以上利用したい 3. 利用する必要はない ⇒	下校時 から 時から 分まで
土曜日	1. ほぼ毎週利用したい 2. 月1～2回利用したい 3. 利用する必要はない ⇒	時 分から 時 分まで
日・祝日	1. ほぼ毎週利用したい 2. 月1～2回利用したい 3. 利用する必要はない ⇒	時 分から 時 分まで
長期休暇中 (春・夏・冬休み)	1. 週4日以上利用したい 2. 週1～3日以上利用したい 3. 利用する必要はない ⇒	時 分から 時 分まで

育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問 21 宛名のお子さんが生まれた時、父母のいずれかもしくは双方が育児休業を取得しましたか。母親、父親それぞれについて、当てはまる番号 1 つ に○をつけてください。また、取得していない方はその理由をご記入ください。

取得の有無《1つ選択》			取得後の状況 《1つ選択》	
母親	1. 取得した (取得中である)	➡	取得後の状況 《1つ選択》	ア. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問22へ イ. 現在も育児休業中である ⇒ 問23へ ウ. 育児休業中に離職した
	2. 取得していない	➡	取得していない 理由 《複数選択可》	ア. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった イ. 仕事が忙しかった ウ. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった エ. 仕事に戻るのが難しそうだった オ. 昇給・昇格などが遅れそうだった カ. 収入減となり、経済的に苦しくなる キ. 保育所(園)などに預けることができた ク. 配偶者が育児休業制度を利用した ケ. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、 制度を利用する必要がなかった コ. 子育てや家事に専念するため退職した サ. 職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めがなかった) シ. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった ス. 育児休業を取得できることを知らなかった セ. 産前産後の休暇(産前6週間、産後8週間)を取得できることを知らず、退職した ソ. その他()
	3. 働いていなかった			

取得の有無《1つ選択》			取得後の状況 《1つ選択》	
父親	1. 取得した (取得中である)	➡	取得後の状況 《1つ選択》	ア. 育児休業取得後、職場に復帰した ⇒ 問22へ イ. 現在も育児休業中である ⇒ 問23へ ウ. 育児休業中に離職した
	2. 取得していない	➡	取得していない 理由 《複数選択可》	ア. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった イ. 仕事が忙しかった ウ. 仕事に戻るのが難しそうだった エ. 昇給・昇格などが遅れそうだった オ. 収入減となり、経済的に苦しくなる カ. 保育所(園)などに預けることができた キ. 配偶者が育児休業制度を利用した ク. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、 制度を利用する必要がなかった ケ. 子育てや家事に専念するため退職した コ. 職場に育児休業の制度がなかった (就業規則に定めがなかった) サ. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった シ. 育児休業を取得できることを知らなかった ス. その他()
	3. 働いていなかった			

問21で「1-ア 育児休業取得後、職場に復帰した」と回答した方にうかがいます。

問 22-1 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。どちらか1つに○をつけてください。

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、1月～2月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1.」に当てはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1.」を選択してください。

母親《1つ回答》	父親《1つ回答》
1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった 2. それ以外だった	1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった 2. それ以外だった

問 22-2 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何ヶ月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内で数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。実際の復帰と希望が異なる場合は、その理由についても合わせてお答えください。

（1）母親

実際の取得期間	歳 ヶ月	希望の期間	歳 ヶ月
---------	---	-------	---

「希望」より早く復帰した方《複数選択可》	「希望」より遅く復帰した方《複数選択可》
1. 希望する保育所に入るため 2. 配偶者や家族の希望があったため 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため 5. その他（ ）	1. 希望する保育所に入れなかったため 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため 3. 配偶者や家族の希望があったため 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため 6. その他（ ）

（2）父親

実際の取得期間	歳 ヶ月	希望の期間	歳 ヶ月
---------	---	-------	---

「希望」より早く復帰した方《複数選択可》	「希望」より遅く復帰した方《複数選択可》
1. 希望する保育所に入るため 2. 配偶者や家族の希望があったため 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があるため 4. 人事異動や業務の節目の時期に合わせるため 5. その他（ ）	1. 希望する保育所に入れなかったため 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため 3. 配偶者や家族の希望があったため 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため 6. その他（ ）

問 22-3 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何ヶ月のときまで取りたかったですか。□内で数字でご記入ください（数字は一桁に一字）。

母親	父親
歳 ヶ月	歳 ヶ月

問 22-4 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか。また、利用しなかった場合、その理由についても合わせてお答えください。当てはまる番号○をつけてください

	利用の有無 《1つ選択》	利用しなかった理由《複数選択可》
母親	1. 短時間勤務制度を利用しなかった	ア. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった イ. 仕事が忙しかった ウ. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる エ. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる オ. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した カ. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなどなど、制度を利用する必要がなかった キ. 子育てや家事に専念するため退職した ク. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった） ケ. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった コ. その他 （ ）
	2. 短時間勤務制度を利用した	

	利用の有無 《1つ選択》	利用しなかった理由《複数選択可》
父親	1. 短時間勤務制度を利用しなかった	ア. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった イ. 仕事が忙しかった ウ. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる エ. 短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる オ. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した カ. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなどなど、制度を利用する必要がなかった キ. 子育てや家事に専念するため退職した ク. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった） ケ. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった コ. その他 （ ）
	2. 短時間勤務制度を利用した	

問21で「1-イ 現在も育児休業中である」と回答した方にうかがいます。

問23 宛名のお子さんが1歳になったときに必ず預けられる事業（保育園等）があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

母親《1つ回答》	父親《1つ回答》
1. 1歳になるまで育児休業を取得したい	1. 1歳になるまで育児休業を取得したい
2. 1歳になる前に復帰したい	2. 1歳になる前に復帰したい

問24 23 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は1歳6月）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じでしたか。当てはまる番号1つに○をつけてください。

1. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
2. 育児休業給付のみ知っていた
3. 保険料免除のみ知っていた
4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

問25 24 最後に、教育・保育環境の充実など子育ての環境や支援に関してご意見・ご要望や、宛名のお子さん以外の子どもについてのお困りごとなどがございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。